

事業所名: グループホーム小浜きたの

作成日: 平成 27 年 3 月 24 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今後も更に日々の個別記録を重視し、介護計画に添ったケアプランに基づいたケアの内容を記録に残す予定である。家族の方に日々の記録(ケア内容・写真等)を見て頂き介護計画作成時の話し合いに活かしていきたいと考えている。	日々の簡易版記録の充実・介護記録の原案を基に家族との話し合いを継続したい。	簡易版記録用の書式を作成	1 ヶ月
2	35	今後はホームの立地環境(自然災害の可能性)をハザードマップ等で確認すると共に、自然災害に関するマニュアルを見直し、現状に即したマニュアルの改訂を行う予定である。ホームが福祉避難場所になる可能性もあり、市の防災担当の方と話し合い、運営推進会議に行政の方に毎回参加して頂き、地域の方との協力体制を含めて検討していく予定である。	ハザードマップによりホームで何ができるか地域の中でテーマをシリーズとして発信したい。	行政の防災担当・雲仙支所・地域の住民とホームの現在置かれている環境、危険性等話し合いその結果に向けて取り組みたい。	6 ヶ月
3	36	居室のポータブルトイレの周囲に、職員手作りの囲いが作られている。今後も、排泄時の羞恥心を深く考える機会を作り、「自分だったら・・・」と言う視点で、排泄ケアを振り返る予定である。	転倒防止・プライバシーの確保・羞恥心への配慮を個々に深く考え振り返る機会を作りたい。	トイレの開放の考え方として、プライバシーの確保・羞恥心の配慮等の為防災カーテンを設置したい。	3 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月